

事故報告(注意喚起)

九州地方整備局 港湾空港部
工事安全推進室

管内事務所の工事で発生しました事故について、事故発生の原因及び再発防止対策を取りまとめましたので情報提供致します。

I. 事故概要

発生日時 令和6年4月22日(月) 18時00分頃

作業内容 汚濁防止膜解体作業
(着水している汚濁防止枠を陸揚げし、汚濁防止膜を撤去する作業)

被災状況 口元の負傷、歯の破折、顎関節炎

II. 事故発生状況

- 汚濁防止枠を起重機船にて陸上ヤードに吊り下ろした後、高さ約1mの位置のフックから吊ワイヤー(38mm)を取り外す際に、外れにくかったため力任せに外した結果、その反動で外れた吊ワイヤーが口元に当たり、負傷した。



事故発生状況の再現写真

Ⅲ. 事故発生の原因

- 1) 吊ワイヤーとフックが競っている場合は、吊ワイヤーが外れやすい位置にフックを調整するが、作業指揮者（合図者）は競っている状態を確認しておらず、また作業者も力任せに吊ワイヤーを外してしまった。
【危険に対する認識不足】
- 2) グラブ枠解体の作業手順書に不備があった。（外れにくい場合に、フック位置を調整する記載がなかった。）
【作業手順書の不備】

Ⅳ. 再発防止対策

- 1) フックから吊ワイヤーが外れにくい場合は、吊ワイヤーの競り具合を作業者と作業指揮者で確認し、作業指揮者がクレーンオペレーターに合図することで、吊ワイヤーがフリーになるようフックの位置調整を行う。
【施工方法の改善】



- 2) 上記を網羅した作業手順書を整備し、作業者全員に作業手順の周知徹底を図る。
【作業手順書の整備】